

第3報

令和4年8月30日

かとう内科並木通り診療所
院長 加藤 恒夫

かとう内科並木通り診療所 入院病棟における 新型コロナウイルス感染終息について(第3報)

前略 表題の件につきまして、続報を以下の通りご報告致します。

【経緯】

令和4年8月17日、当院の入院病棟職員1名ならびに入院患者様2名について新型コロナウイルスへの感染が判明し、第2報のご報告時点で病棟職員4名、入院患者様1名が新たに感染していることを確認していました。

【状況】

8月19日に、病棟職員2名、入院患者様1名の新規感染が分かり、感染者は病棟職員7名、入院患者様3名、計10名となりました。職員は自宅での療養とし、患者様は引き続き病室にてケアすることと致しました。

同時に、病棟においては感染リスクに応じたエリア分けや、感染者・非感染者に対応する職員の分担を明確にする等の厳格な感染対策を講じ、発症者の増悪防止と非感染者の新規感染予防に努めました。

その後は新たな感染を認めずに経過し、最後に感染が判明した当院職員の自宅療養期間が8月29日に終了しております。以上のことから、今回の事態は終結したと判断致しました。これに伴い、入退院および療養病床への入退所は再開しております。

患者様、ご家族様ならびに医療・福祉関係者の皆様には多大なるご心配をおかけしました。今後も適切な感染対策を継続するとともに、感染の発生には迅速に対応して当院の社会的責務を果たして参りますので、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上